

紙面から

- 第2次行財政改革の実施結果 ……2・3
- 市・都民税、所得税の申告受付が始まります ……6・7
- 中高年嘱託職員として市役所で働きませんか ……7
- 子育てサークル交流会 ……9
- 水と緑の日野・市民ネットワーク ……12  
発足記念シンポジウム



# 第2次行財政改革の成果



▲浅川で手をつなごうin万願寺 (平成16年)

## 市民が主役の市政 効率的な行政運営を推進

市では、平成8年度から行財政改革に取り組んでいます。その後の厳しい行財政状況の中で、平成11年2月に財政非常事態宣言をし、同年8月に策定した「第2次行財政改革大綱」(対象期間は平成11年～20年度)に基づき、全庁を挙げて積極的に行財政改革に取り組んできました。継続して取り組むべき課題や、新しい社会環境の変化に対応していく課題を中心に、平成11年～13年度及び平成14年～16年度の実施計画を作り、その実現に向けて努力してきたところです。

平成16年度までの「第2次行財政改革大綱」を検証した結果、改革・改善項目316項目のうち、301項目(一部実施を含む)について実施することができました。このことから、「第2次行財政改革大綱」は平成16年度で終了し、平成17年度から「第3次行財政改革大綱」を策定し、新たな取り組みを行うことになりました。実施結果の詳細は2・3面でお知らせしています。

問合せ先 企画調整課

### 育て！日野の星

日野市長 日野 弘 融

読売巨人軍・横川雄介選手の少年野球教室がありました。大坂上中地区育成会の主催です。会場は、彼の母校であり野球生活の出发点でもある七小の体育館。あいにく、みぞれまじりの雨でしたが、野球少年たちが大勢集まりました。

横川選手は七小・大坂上中・日野高と、ずっとこの地区に育ち、3年前のドラフトで読売巨人軍に指名されたのです。中学までは地元少年野球チームの一員としてプレーしていたわけで、身近な有名選手による指導は、子どもたちには素晴らしい機会です。それにしても子どもを育てることとは難しい。2人の子どもを育てた私ですが、自分の子育てがどうだったのか、彼らにもっと本物や優れたものに触れる機会を与えるべきではなかったか、今でも反省しています。

ごく普通の親として、無限の可能性を秘めた若い命を養育するのは、実は大変な仕事です。そこに地域活動の意義がある。とりわけ一芸に秀でた身近な先輩からの教えは、親の言葉よりはるかに重みをもつはずです。

横川選手を見つめる子どもたちの目の輝きが違いました。参加した子どもたちが横川選手のひと言に刺激を受け、次の名選手に育つかも知れません。

おりしも、「ひのっ子すくすくプラン」素案が作られました。「ひのっ子教育21」と併せ福祉・教育の枠を超え、輝く次世代を育てたいところです。

育て！日野の星